

ナメクジウオの分布

かつて、ナメクジウオは貴重かつ希少な動物であるとされ、広島県三原市幸崎町のナメクジウオ生息地（1928年指定）、あるいは愛知県蒲郡市三谷町の大嶋ナメクジウオ生息地（1941年指定）が、史跡名勝天然記念物に指定された。これらの場所では、まったく採集できなくなった時期があるが、最近は個体群が戻りつつある。

現在は、多くの場所でナメクジウオの採集が可能になってきた。大きな個体群も見つかっている。ナメクジウオは、房総半島から九州にかけての本州南西部の太平洋沿岸と日本海沿岸、および瀬戸内海沿岸に広く分布する。大きな個体群は、遠州灘、瀬戸内海沿岸、淡路島沿岸、有明海で知られている。干潟から約70 m以浅までの砂質の海底にパッチ状に生息し、高密度に分布する場所では、1 m²あたり1000匹以上が採集されることもある。

日本では、ヒガシナメクジウオの他に、*Epigonichtys* と *Asymmetron* が九州南岸、沖縄諸島沿岸、および本州南部太平洋岸の黒潮域に生息している。

日本産ナメクジウオの種類と分布

カタナメクジウオ

● *Epigonichtys maldivensis*



オナガナメクジウオ

● *Asymmetron lucasynum*



ナメクジウオ(ヒガシナメクジウオ)

● *Branchistoma belcheri*



ゲイコツナメクジウオ

● *Asymmetron inferum*

世界で
唯一の生息場

